

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	32320	電話	042-769-8262
担当部課名	土木部	道路管理	課	路政 班
事務事業名	路上放置自動車等撤去委託			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	円滑な道路交通の確保	63以前年度
施策名	第2施策	道路管理の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

道路法、相模原市路上放置自動車取扱要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市道上にある所有者不明の放置自動車や不法投棄物を撤去・処分することで、円滑な道路交通の確保を図る。	相模原市道
	対象数 8,499路線・1,646km
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
路上放置自動車撤去委託...警察から「廃物自動車」と認定を受けた市道上の放置自動車を、委託業者に撤去させた。(210台) 不法投棄物収集運搬業務委託...市道上の不法投棄物を委託業者に収集させ、清掃工場・処理困難物処理業者に運搬した。(26回・66台) 不法投棄物処分業務委託...不法投棄物のうち、清掃工場に持ち込めない処理困難物を、処理業者に処分させた。(混在物30トン、残土40トン)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	なし
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	放置自動車・不法投棄物撤去可能率	$(\text{撤去した件数} \div \text{撤去可能な放置自動車} \cdot \text{不法投棄物}) \times 100$	撤去可能な放置自動車・不法投棄物を現場から撤去することで通行可能な道路環境を見る	100	100	100	100	100
	放置自動車撤去台数率	$(\text{本年度撤去台数} \div \text{前年度撤去台数}) \times 100$	放置自動車の撤去台数の推移を見る(12年度:163台、13年度:154台、14年度:210台、15・16年度:195台)	111	95	136	93	110

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位:千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	7,522	8,516	9,177	11,119	11,119
人員・時間数	2人・4時間	3人・4時間	3人・4時間	3人・4時間	3人・4時間
人件費	18,637	10,480	10,064	10,338	10,338
その他経費	0	0	0	0	0
合計	26,159	18,996	19,241	21,457	21,457
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	560	707	708	730	730
対象の単位あたり経費	46.7	26.9	27.2	29.4	29.4

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	撤去可能な放置自動車・不法投棄物は全て撤去しているが、撤去までの日数がかかる等課題がある。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 放置自動車・不法投棄物を撤去することで円滑な道路の使用を確保できるので、市民ニーズに適応している。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	放置自動車・不法投棄物は最終的に撤去するしか方法がないので、この事業は必要かつ有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	現場調査は嘱託職員、撤去は委託で行っているため、正規職員が行うより割安である。
(5)公平性 評価 C ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	本当は不法投棄した者が撤去するのが筋だが、不法投棄した者が見つからないため、市が処理している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明: 右のとおり事業費をできる限り削減したので、業務の性質上これ以上の経費削減は困難である。	手段	現場調査を嘱託職員対応にし、内部事務も効率化を図り、時間・人員を削減した。(平成12年度より平成14年度まで)
		削減額	8,573 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		近隣市(厚木・町田・八王子)の調査では、放置自動車の処理台数は厚木市約40台、町田市約50台、八王子市約20台である。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 市道に不法投棄をする者が見つからない限り、この事務は継続すべきものとするが、管理者毎(例:道路・公園・河川)で同様の委託を行っているため、市として一括して(清掃当局が)委託を行ったほうが良いと思われるので、環境事業部に対し申し入れを行う。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

関係課と調整し、撤去の一元化など、効率化できる部分の検討を行うこと
